

令和7年度綾瀬市立小・中学校 ICT 学習支援業務委託公募型プロポーザルに係る
質問への回答について

令和7年1月31日（金）～令和7年2月20日（木）17時までに、本事業実施要領指定の方法で質問をいただいた内容について、次の通り回答する。

No.	質問	回答
1	6 委託業務内容 （1）ICT 学習支援について ②ICT 学習支援業務に従事する者（以下、「支援員」という）の要件において、「教員や児童生徒と関わっていく上で適切なコミュニケーション能力を持ち合わせていること」とあります。 学校現場での業務遂行にあたっては、人材の質担保のため、学校で情報漏洩、ハラスメント、暴力暴言などの問題行動を起こすことがないように、支援員採時には、面接に加えてコンプライアンス順守を目的とした適性検査の実施（リスク面に特化した検査）等を行うことが求められる理解でおりますが、いかがでしょうか。	質問いただいた項目の主目的は、学校で情報漏洩、ハラスメント、暴力暴言などの問題行動を起こすことがないようにすることは前提とし、支援員が本業務に従事する中で、教職員や児童生徒の ICT 活用における課題について聞き取るための傾聴力、課題解決の提案を行うための発信力を持ち、本事業の目的を遂行するための総合的なコミュニケーションスキルについて持ち合わせていることを条件としております。 そのため、適性検査は必須とはいたしません。本事業の目的に対して、適切な能力を有する人材を登用するために必要な選考を行ってください。
2	委託業務の適正な運用を鑑みますと、偽装請負に陥るリスクを回避する運用や仕組みが整っていることが必要であると理解しています。運用開始前に受託業者から業務メニューの一覧を提示し、双方合意のうえで支援を開始する必要がある認識でおりますが、相違ございませんでしょうか。	相違ございません。

3	7 留意事項 (2) 機密の保持 ② において、「本業務で作成された文書・資料等の著作権は、発注者に帰属するものとする。」とあります。「受託者の支援員や統括責任者が作成したマニュアルや報告書等の成果物にかかる著作権は受託者が保有し、事前に協議の上、発注者としても成果物を使用、又は複製し、公表することができること。」という理解でよろしいでしょうか。	本業務の時間内で、発注者及び教職員の指示を受けて支援者及び統括責任者によって作成された文書及び資料は、発注者に属します。 上記以外の支援者と受託者間において作成及び使用される報告書やマニュアルについては、受託者が保有し事前に協議の上、発注者としても成果物を使用、又は複製し、公表することができるという意味になります。
4	<項等> 業務委託実施要領 7 (2) プレゼンテーション及びヒアリングの実施 企画提案書及び価格提案書について、プレゼンテーション及びヒアリングを 実施する。時間、場所については、別途通知する。 <質問内容> 貴市 HP には『1 者あたり 25 分程度』とする予定とも記載がありますが、いつ頃正式に通知となるのでしょうか。 また現時点で公表可能であれば、プレゼンテーションと質疑応答の時間配分、及び当日の参加可能人数を教えてください。	予定時間の通知につきましては、第 1 次審査を通過されました事業者のみ 3 月 14 日（金）までにメールにて送付いたします。メールの内容は、2 次審査の場所・時間等の必要事項を記載いたします。第 1 次審査の進捗によっては、3 月 14 日（金）よりも前に通知することもあります。 プレゼンテーションと質疑応答の時間配分は、プレゼンテーションが 15 分程度、質疑応答が 10 分程度を想定しております。 プレゼンテーションにおける提案事業者の参加人数は、6 名を上限として考えております。
5	<項等> 業務委託仕様書 6 (2) ① ・発注者が必要と判断した場合は、端末へのソフトウェア、アプ	仕様書としては対象に含みません。 ただし、『04_【別紙 2】採点基準詳細』の項目番号 4 『事業の実施方法』及び 5 『導入予定 ICT 物品等に対する対応』のとおり、学校から依頼が

	リのインストール及びアップデート作業を行うこと。 <質問内容> 学校の授業で使用するアプリケーションの利用者変更などの年次更新作業は、対象に含まれますか。	あった場合の対応についても評価の対象となる可能性がありますので、ご注意ください。
6	『仕様書』6 委託業務内容 p2,3,4 (1) ICT 学習支援について ①支援体制 ・支援日数42回を超えない範囲で夏季休業及び冬季休業期間中に教職員向けの研修を行うことがある ・支援は1回当たり、6時間支援 (2) ICT 学習支援内容(支援員) ③校内研修支援 発注者が必要と判断した場合は、以下に例示する校内研修を教員向けに行う ・ICT 機器やソフトの操作研修 ～ ・ICT 機器の管理・運用研修 など とございます。これは42回×6時間×全15校=3,780時間の範囲で校内研修を行うことがある、という意味でしょうか？もし、そうでない場合、費用に大きく影響しますので、校内研修支援の時間数や詳しい内容を教えて頂けないでしょうか？	42 回×6時間×全 15 校=3,780 時間の範囲で行うものとなります。